

「ありがとう母なる大地」

2024 年も早くも師走！大掃除の季節ですね。

私は大掃除の前に 2 年前に他界した両親の遺品の片付けもまだ山積みで、何をどこまで残したり捨てたりしたらいいのか、頭をず〜っと悩ませています。

そんな中、今、私の 2 回目の個展「母 TSUNAGU 未来」展が
京都佛立ミュージアムで開催中！
今回のテーマは「Rock Queen の宝物」

この展覧会は、私が還暦を迎えた 2019 年に生まれ故郷の藤沢で、
80 年代「ロックの女王」と呼ばれるまでの衣装を母が作って
くれていたことをファンの皆さんに初めてきちんと伝え、母に
感謝の気持ちを込め、グランドピアノの横にママメイドの衣装を並べて
「Mama」という歌を発表したライブを、ミュージアムの長松館長さんが
見てくださり「貴子さん！これは素敵なお話だから是非、個展にしてく
ださい！」と言っていただいたのが始まり。

服もなにも縫えない私の元に祖母・母・叔母の針箱が 3 つも残され、
「これを捨てるのは簡単だけど、私がこの針箱を全て捨ててしまったら、
これまでの長きにわたる日本女子の手仕事は私の代で絶滅しちゃう！」
そう危機感を感じロンドンで購入した私の「アンティークの缶から針箱」も
並べて「4 つの針箱物語」と題してライブ会場に展示もしました。

こうして個展の源流は藤沢から始まり、2019 年に 1 回目を開催。今回コロナ禍を
経て 2 回目の開催です。

会場に訪れてくださる皆さん口々に「私の母も服を作ってくれました！
針箱懐かしい〜もうとっくに捨てちゃったわ！」・・・と涙ながらに昔を語って
くれる方や「私も家が同じ状態で！でも捨てられなくてどうしたらいいですか？」と
時にはお悩みをお伺いすることもある。

デビュー45周年を目指して「ロックの女王時代」の衣装や小学生の頃からのママメイドの服も5着展示。大好きだった10歳の頃の「ラビットファーの紺色のツイード地のコート」が、今回ポスターになり大スターになってます。

「世界に一つしかないオリジナリティー」は宝物。そんな私が大切にしてきた品々満載です。

何もかもが使い捨て当たり前になってしまった現代。でも衣服の生みの親である「地球」は今、異常気象で病んでいます。
だから個展の最後のパネルに、私は「ありがとう母なる大地」と描きました。

でも、残念ながら何もかもは大切にできるはずもなく、家の片付けは大変！
私はそんな時「WE21」の皆さんに助けていただいています。
ありとあらゆる「リサイクル」を手掛けてられて、本当に頼もしい取り組みです。

「もらっていただき感謝」しかもしかるべき方々に寄付として役立てられています。
皆さんもこの年末「焼却」してしまう前に「リサイクルお片付け」をお勧めします。

2025年1月19日にはZepp 横浜で2回目のバンドライブを開催しますが、来年もロビーで「SDGs カーニバル」も開催します！来年も元気にお会いしましょう！



「来年2月2日まで会期延長になった
個展ポスター」



「ラビットファーのコートがお出迎え」
の個展会場の様子